

分野		科目名		配当年次		開講期			
専門分野		看護技術統合演習Ⅰ		2 年次		前期			
単位数		時間		担当教員		実務経験の有無			
1 単位 (15 時間)		16 時間		遠藤奈美子		有			
授業 の 概要		臨床現場に即した看護技術を修得するために、事例を通して援助方法を考え、実践する。							
到達 目標		1. 日常生活援助の方法の根拠や留意点を理解し、安全・安楽を考慮して実施できる。 2. 基礎的な日常生活技術を実施し、自分の援助方法を客観的に評価し、振り返ることができる。 3. 看護実践において、知識と態度を統合する必要性について気づくことができる。							
授業 計画		No.	授業内容			授業方法		備考	
		1	看護技術統合演習について ・演習の進め方、事例患者の説明			講義			
		2 ～ 5	基本技術の確認と実践 (経管栄養・膀胱留置内カテーテル・導尿・グリセリン浣腸・ 摘便) 看護技術統合演習に向けての事前準備 (事例患者の疾患や身体的特徴などの理解と援助内容の GW と技術練習)			GW・演習			
		6 ・ 7	看護技術統合演習 ・事例患者に合わせた看護技術演習 ・グループで演習を振り返り、振り返った内容をまとめる			演習・GW			
		8	演習からの学び、振り返りをグループ毎に発表する 看護実践において、なぜ知識と態度を統合することが必要な のか			講義			
評価		技術試験 90 点 レポート 10 点 A4 レポート用紙 1400 字程度「看護技術統合演習Ⅰでの学び、その学びから成人・ 老年看護学実習に向けての自己の課題」							
参考 文献		1) 任和子ほか：基礎・臨床看護技術第 3 版 医学書院. 2021 2) 任和子ほか：系統看護学講座 基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ 医学書院. 2021 3) 医療情報科学研究所 看護がみえ vol. 2 臨床看護技術 メディックメディア. 2018 4) 中村充浩ほか 根拠からわかる！実習で実践できる！基礎看護技術 照林社. 2022							
備考									